

各種アンケート調査等の結果への意見・質問に対する回答

※本資料記載のページは第 2 回審議会の資料 2 に基づくものです。

No.	ページ	意見・質問	回答
1	P1	職員アンケートから「2 まちの印象について」「5 協働のまちづくりについて」「8 教育について」の項目を除いた理由は、	町外在住の職員もいるため、町内に在住する方に関連する設問は除いて職員アンケートを実施しました。なお、他の設問の中にも除いた項目があります。
2	P3	回答があった年齢で 60 代、70 代の回答が多いのは理解できる。30 代未満、30 代、40 代、50 代の回答が少ないが、どうとらえているか。(対象者の抽出は、アプローチの仕方は。)	対象者の抽出は無作為で行いました。地区別・性別の割合は、住民基本台帳登録者の割合としました。年齢別の割合は、若年層の回答率が低いことを想定し、住民基本台帳登録者の割合を基本として、若干高齢層(70 代以上)の割合を引き下げ、若年層(30 代以下)の割合を引き上げて実施しました。今後、若年層の意見を聞くためには、従来の郵送による調査方法に加えてインターネットによる調査や、若年層に絞った調査の実施などについて検討する必要があると考えております。
3	P5 P8	(4)「山北町以外に住んだことはありますか。」の質問で、「県内の他の市町村から転入してきた」が 36.6%、「山北町に生まれてからずっと住んでいる。」が 24.2%だったのが、(7)「山北町に住むようになった理由を教えてください。」の質問で、「生まれたときから住んでいるから」が 33.8%となっているが、両方とも町民の回答者は 1,271 人であるので、カウントの仕方に疑義があると思われる。	回答用紙に○をつける方法のため、回答者の質問の受け取り方で回答結果が変わる場合があります。例えば、(7)の質問で、「生まれたときから住んでいるから」と回答した人は 429 人でしたが、その大半が(4)の質問で「山北町に生まれてからずっと住んでいる(277 人)」と「山北町出身だが、町外での居住経験がある(145 人)」を選択しており、傾向をつかむことはできると考えております。
4	—	アンケートから交通手段・買い物・医療機関・山北駅前の整備・商店街の活性化などが課題として挙げられるが、山北町はどう考えているか。また、新たな総合計画の中で、町民等の声をどのように反映していくのか。	アンケートで挙げられた課題は、町としても重要な課題と認識しており、新たな総合計画の中で課題として位置付け、基本計画(分野別計画)さらには重点プロジェクトにおいて取り組んでいく内容と捉えています。